

「X塔」

山野浩一

奈良県橿原市の小さな山に埋れた小さな円柱の塔が発見された。鮮やかな純白の塔であるが、一体いつ何の目的で作られたものか判らない。更に判らないのはその塔を作っている素材だ。石でもなければ土でもなく、また金属でもない。奇妙なその塔は発見された日から少しづつ崩れていくのだ。政府ではとにかく重要文化財に指定してそのX塔の保護を命じた。あらゆる保護方法が試みられた。セメントやのり、合成樹脂による補強、薬品による強化、全て役に立たなかつた。X塔は崩れ続け、くだけた粉は気化して跡形も残さない。考古学者、物理学者など日本中の科学者がX塔を研究した。しかしやはり何の手掛りも得られない。塔の周囲をドームで囲み、真空無重力状態の中で保護することを試みた。それでも塔は崩れ続け、遂に完全に崩壊した。その間の研究成果は全くなく、要した費用は文部省予算の三〇%を占めていた。問題は、次にX塔が発見された場合どうするかだ。